

「てあらいくん」 使用説明



経路別感染症

感染経路	感染症
空気	麻疹、水痘、結核 等
飛沫	ウィルス感染症(インフルエンザ等)、風疹等
接触	MRSA、セラチア菌、緑膿菌、O-157、SRSV、C.difficile 等

ほとんどの院内感染が接触感染で起こる

手指培養(手洗い前)



手洗いの方法

START

医療行為の前後で

目に見える汚れが



ある

石鹼（普通または抗菌）
で流水手洗い

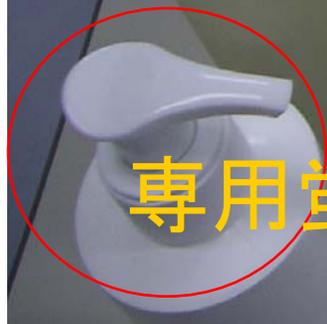
ない

アルコールベースの
手指消毒薬で消毒

5～6回繰り返すと
手がべたつく

保湿：ハンドクリームか
ハンドローションの使用

てあらいくんには2つの使い方があります



専用蛍光ローション

てあらいくんの2つの使い方

1. 速乾性消毒薬の手への広がりを見る

ローションを速乾性消毒薬の代わりとして手に塗り広げてあらいくんの中にかざし、手全体にローションが塗り広がっていることを蛍光で見てください。

MRSAを含む院内感染原因菌は、一過性として手のいろいろな場所に付着しています。この菌を消毒するには、手全体に消毒薬を塗り広げることが必要です。



てあらいくんの2つの使い方

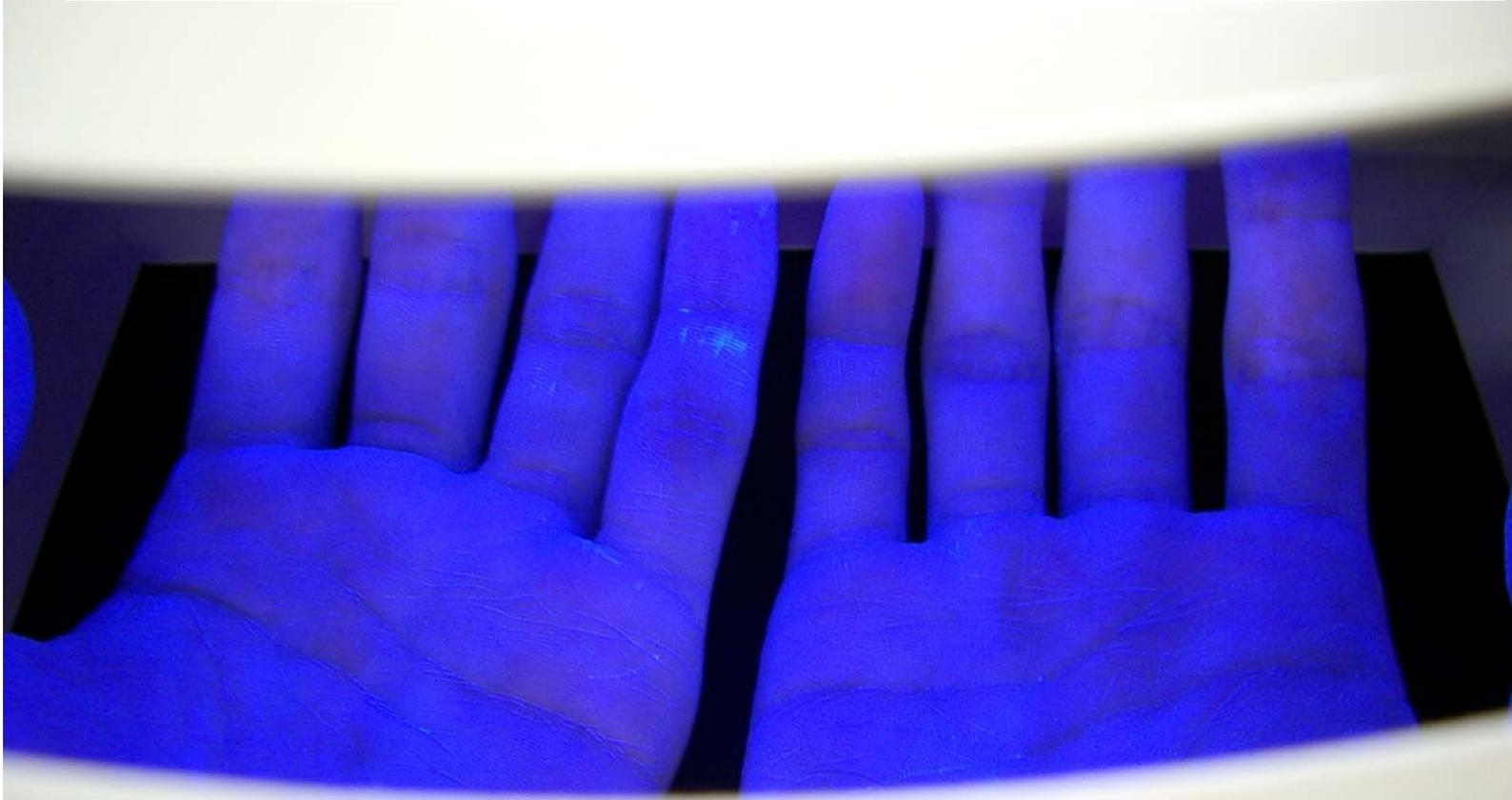
2. 手洗い時の洗い残しをみる

ローションを速乾性消毒薬の代わりとして手に塗り広げその後自施設で行っている手洗いをしていただき（石鹼も使用可）、てあらいくんの中にかざします。洗い残し部分を蛍光で見てください。

MRSAを含む院内感染原因菌は、一過性として手のいろいろな場所に付着しています。この菌を洗い落とすには、手全体をくまなく洗うことが必要です。



速乾性消毒薬の手への広がりを見る



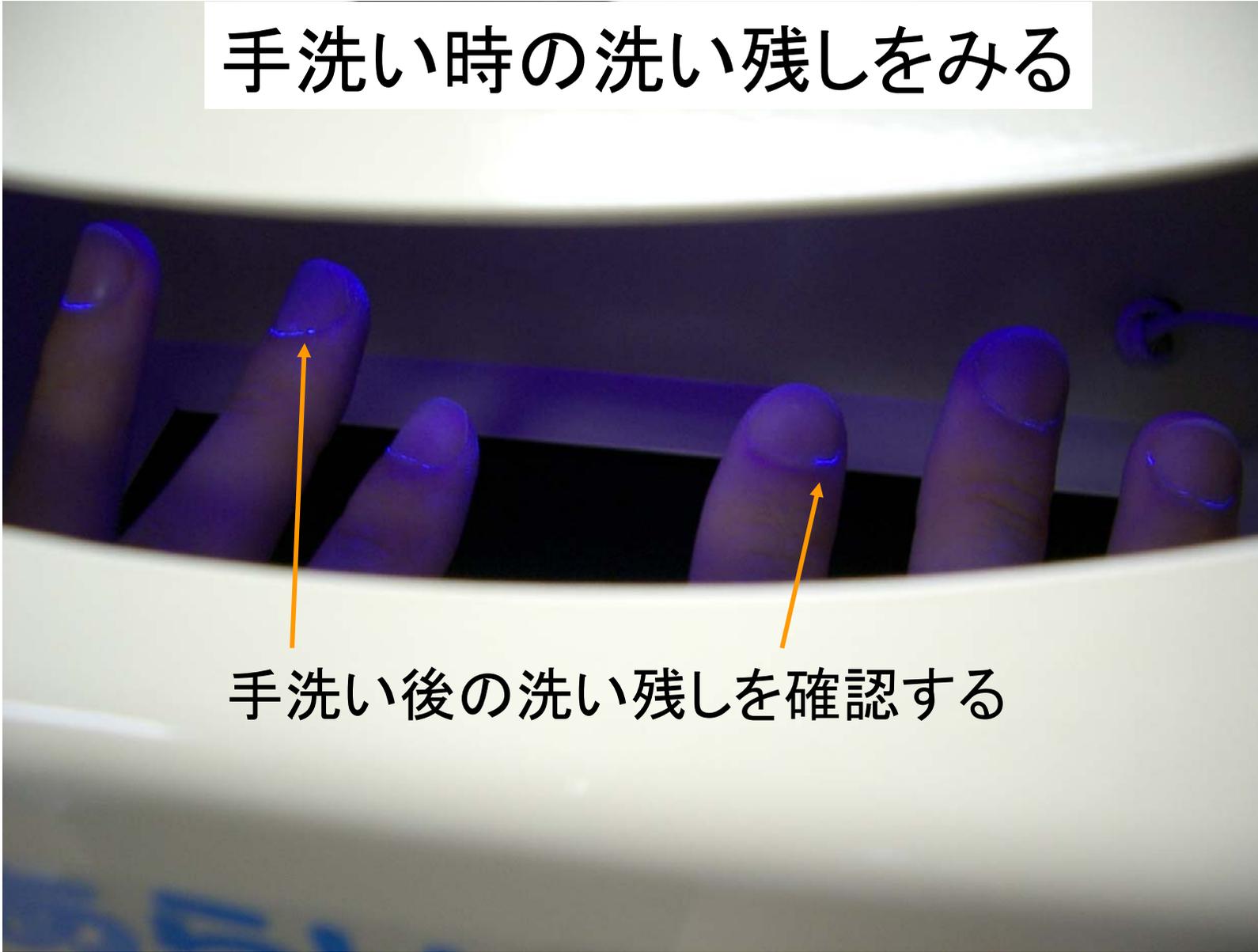
手全体に塗り広げていることを確認する

日常行っている手洗いをする

石鹼も使用可能



手洗い時の洗い残しをみる

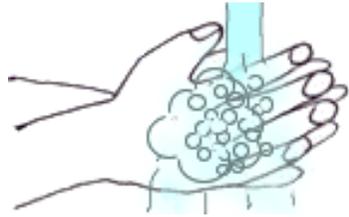


手洗い後の洗い残しを確認する

院内感染を防ぐ一番効果的な方法は
手洗いです。

是非、てあらいくんを使って
効果的な院内感染対策を実施してください。





(1)流水で手を濡らし、石けんを適量つける。



(2)手のひらと手の背を洗う。



(3)指の間を洗う。



(4)親指も忘れずに洗う。



(5)指先や爪の間を洗う。



(6)手首を洗う。



(6)流水中でよく洗い流し、水分をふき取る。